



# 八幡小だより

北九州市立八幡小学校  
校長 田頭 麗宏



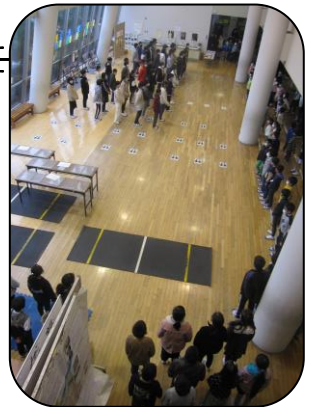
## 6年生を送る会

### 感謝と送別の思いを伝え合いました

先月26日(金)の「6年生を送る会」は、5年生の子どもたちを中心に、全校みんなで創りあげ、気持ちが一つになった素晴らしい集会でした。もちろん、全校で集まることはできませんでしたが、全校合唱の場所を工夫したり、入れ替わりながら感謝の気持ちをこめて、一生懸命に詩の暗唱や音楽などの発表をしたりしました。また、6年生は、スクリーンに映し出される6年間のアルバムを見て、その成長を振り返ることができたようです。



集会をはじめ学校行事がほとんど実施できなかった本年度ですが、子どもたちの様子からは6年生を中心とした一体感が伝わってきました。これは、八幡小の伝統であり、たった1年間の「イレギュラー」ぐらいでは揺るがないものだと感じました。伝統を引き継ぐ「素晴らしい八幡小のまとまり」こそが、来年度に向けた大きな力になると確信しています。



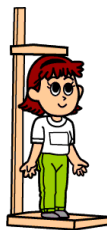
先月、後期の発育測定を行いました。測定結果を記録した『のびゆくすがた』をご覧いただいたことと思います。当然ながら個人差はありますが、どの子ども身体の着実な成長がうかがわれます。

身体の成長と同様に重要なのは「心の成長」です。発達上、小学生(6~12歳)は、幼児期の終わりから少年期、そして青年期の入り口に差しかかる時期と言えます。つまり、この6年間に心がぐんと成長するということです。ですから、大人のかかわり方も発達段階に応じたものに変えなければなりません。子育てに関して「幼

### 子どもたちの心身の健やかな成長に向けて

「児は手を離さない」「少年は目を離さない」「青年は心を離さない」という言葉を聞きますが、まさにその通りだと思います。

虐待の一つに育児放棄(ネグレクト)があります。絶対に許されるものではありませんが、逆に、いつまでも過剰に子どもにかかわる「過干渉」「過保護」も問題です。子どもの健全な心の成長を阻む可能性があるからです。個人差をはじめ状況による違いが大きく難しい問題ですが、ご心配な点があれば学校でも連携して対応していきたいと思



### 学校と家庭との連携でよりよい八幡小に!

~「教育活動に関するアンケート」集計結果から~



先週末、「教育活動に関するアンケート」の集計結果を配布しました。(日付の間違がありました。すみません)

大体高い評価をいただきましたが、低さが顕著だったのが「外遊び・体力づくり」の項目です。確かに難しい状況でしたので、来年度の課題にしたいと思います。また、依然として「家庭学習」にも連携して取り組む必要があると感じました。

同時に、プリントに記載していないものも含めてさまざまなご意見をいただきました。やはり、教育活動をご覧いただけない、直接説明できない状況の影響の大きさを痛感しました。

体育時のマスク着用、保護者対象いじめアンケート、学級通信発行、教師の指導の在り方など、いただいたご意見は学校運営の参考にさせていただき、必要に応じて方針を伝えていくようにします。もちろん、市教委通知に沿う対応、教育活動の有効性や優先性を踏まえるものになることを申し添えておきます。